

風"s・風のたよりオンライン版

2001/4/7 No.46

桜の「花の宴」、あちこちで見かけます。店のある「ウィルあいち」の前の名古屋市市政資料館の桜の下でも明かり無しで夜桜の下、集う人々あり。また帰り道の北区の黒川添いの御用水跡の散歩道は自転車で走り抜けができない感じの「宴」が続きます。

■ ピンクの提灯

桜に提灯はいるのかしら？

10年近く前の話を思い出しました。私の住むマンションの5階から川沿いの桜並木が見下ろせますが、ある日、廊下に出てびっくり。〇〇新聞と書いた小旗が川沿いにず〜っと続いているのです。

「ショック！」「がっかり！」そのころ会社に勤めていましたが、どうにもやるせない気持ちで、お昼の休憩時間に新聞社に電話をかけ、新聞販売店にもかけその思いを伝えました。地域の役員さんのような方の指示で旗を手すりに沿って掲げたということでした。地域の人々の提案となればどうしていいかわからずとにかくこの景色の変化に落ち込みました。

■ 「言ってみるものだ」

でも翌年からそれはなくなり、ほんとにほっとした。....ということがありました。今でも本当によかったと思います。1年に一度の桜の季節、思いもよらぬ風景に出くわしたところの傷は今もよみがえります。しばらくはこの季節が訪れるたびに「だいじょうぶかな〜？ また桜の景色が一変していないかしら？」と不安でした。

■ 第10回フェア・トレード入門講座7人の参加

さて、こんなお花見の日に、岐阜県と豊橋市からと第10回フェア・トレード入門講座には7名の参加がありました。親娘ペアーもあり、学生さんありで、若い方が多いのが最近の傾向です。今回はみんな女性でしたが、ちょうど1年前のフェア・トレード入門講座に参加してくれ、その後もGAIAの会に参加してくれているHくんも途中から参加してくれました。在日の外国の人と花見をした帰りということ

で、風"sに寄ってくれました。4月で1年を迎えたフェア・トレード入門講座は「ティーサロン」でもあります。マイコップ持参の出会いの場にあなたもお気軽にご参加ください。

★フェア・トレードとは....

フェア・トレードとは、発展途上国の有機栽培食品や手工芸品等を、公正な価格で取引し、仕事創りから技術支援もする、世界のNGO(非政府組織)を中心に繰り広げられている草の根交流です。より多くの人々が、フェア・トレードによる商品を選んで買うことが、発展途上国と共に生きる方向が見えてきます。

『GAIAの会』は、1996年5月発足。女と男、老人と若人、障害をもった人と今そうでない人、南と北の国の人、自然と人...「共に生きる」をテーマに互いに学び合いながら行こうとする誰でも気軽に参加できる会です。
